

国際ロータリー第2580地区（東京・沖縄）

東京武蔵村山ロータリークラブ

Tokyo-Musashimurayama Rotary Club

週 報 No.1624

2005-06年度 国際ロータリーテーマ 「超 我の奉仕」 RI 会長 カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

国際ロータリー 第2580地区

2005-06年度ガバナー 古宮 誠



東京武蔵村山ロータリークラブテーマ

「協調性あるクラブ活動を」

第34代クラブ会長 後藤 正次

7月は識字率向上月間です。

本日の例会
卓話 四大奉仕委員長
今年度方針表明

第1625回

例会

2005. 7. 20

次回例会案内【7月27日(水)】

新入会員卓話 鳥海 真一 会員

第1624回例会報告 (2005年7月13日)

司会 比留間 重次 SAA副委員長

点 鐘

(後藤 正次 会長)

斉 唱

奉仕の理想
(ソングリーダー 峯岸 一郎 会員)

来客紹介

(後藤 正次 会長)

○ お客様



多摩分区分



東京東大和RI

C

ガバナー補佐

分区分幹事

直前幹事

直前会

出席報告

(川島 利男 出席副委員長)

会員数	出席者数	出席率	前々回出席率修正
32名	28名	90.33%	なし

○ 事前メーキャップ

清水 高彦 会員 (東村山RC)

会務報告

(後藤 正次 会長)

- 「地区大会の記録DVDダイジェスト版」が届いています。
- 社会奉仕委員会より「社会奉仕活動アンケート」協力の依頼が届いています。(回答〆切 8月31日)
- 米山奨学会より「普通寄付のお願い」「奨学生名簿」「学友の群像」が届いています。
- 伊奈平苑より盆踊りの案内が届いています。
8月6日(土) 18:00~
- 心の東京革命推進協議会より
青少年健全育成啓発ポスター・リーフレット等が届いています。(白板に掲示)
- 菅生中学校より開校10周年記念誌を頂きました。
- FRC親睦ゴルフ会の案内
8月26日(金) 武蔵カントリークラブ(笹井コース)
集合 8:45分 スタート 9:30 会費 7,000円
〆切 8月5日

幹事報告

(原田 友義 幹事)

- 福生RCより2005-06年度事業計画書及び2004-05年度週報を頂きました。
- 例会変更
・ 福生RC 7月27日 → 夜間例会 18:30~ 石川酒造
8月10日 → 休会
・ 向島RC及び城東RCより年間変更の案内を頂いております。
- 「ロータリー情報集」発行の案内を頂いております。
1冊 1,350円

◇ 創立 1972年7月8日 ◇ 承認 1972年7月20日
◇ スポンサークラブ 東京立川ロータリークラブ
◎ 会長 後藤 正次 ◎ 幹事 原田 友義
○ 副会長 小野寺 一昭 ○ 副幹事 芦川 征史
□ 会報雑誌委員長 比留間 孝司 副委員長 野島 征
委員 渡辺 洋司 宮崎 茂夫

◇ 例会場 西武信用金庫・村山支店2階
〒208-0004 武蔵村山市本町2-91-1
◇ 例会日 毎週水曜日 12:30~13:30
◇ クラブ事務局
〒208-0004 武蔵村山市本町2-91-1
TEL 042(520)3251 FAX 042(520)3252
Eメールアドレス t-mmrc@crest.ocn.ne.jp



当クラブの創立総会は今から34年前で、当時のメンバーは22名でした。その後、1年後のチャーターナイト迄に32名になりました。チャーターナイトは、当時の日産自動車で行われたのですが、とにかく盛大にしたいという事で、メンバー全員手分けして参加者の呼びかけを行いました。その結果、当日は1126名の登録を頂きました。その後、会員は最大52名迄に至りましたが、現在は又、チャーターナイト当時と同数になっています。やはり、50名程度の会員数は、是非とも必要だと思いますので、会員増強に努めたいものです。

そもそも私がクラブに入会したのは当時42.3歳の頃で、ロータリークラブの事は何もわからず、熱心なお誘いを受ける中で、その趣旨や出席規定などを知るにつけ、これならお付き合いできるだろうと考えたからです。それから4~5年後、東村山クラブが大変立派なクラブである事を受け、当クラブでも100%出席を目指した事がありました。しかしそれは、無理を重ねる事もあり、改めて考え直す事になりました。今になって考えてみても、当クラブの出席率は、決して悪くはありません。

ロータリークラブとは慈善団体ではなく、職業奉仕をその柱とするものです。この職業奉仕とは、難しく考える事では

なく、皆さんが日常の仕事を誠実に取り組む事で成り立つものと考えられます。ただしこの職業奉仕はなかなか、世間の目には映りにくく、具体的な奉仕活動とは縁遠くなりがちです。そこで、より具体的な奉仕活動を団体として行っていくという趣旨で成立したのが、皆さん御承知の通り、ライオンズクラブなのです。ロータリークラブは、あくまでも個人としてその奉仕の理想を掲げ実践していくもので、クラブはそれを支える役割を持ちます。にも関わらず、電子辞書、広辞苑などで「ロータリークラブ」をひいてみても、職業奉仕との解説は全くありません。100年以上の歴史を持ちながら、これは大変残念な事です。こうした現状がロータリークラブに対して、奉仕活動といっても何をしているのかわからないという批判につながっているものだと思います。しかし、職業奉仕を主眼とするのであれば、そうした批判は甘んじて受け入れても良いのだとも考えます。

もう一つ、ロータリークラブがここ迄発展できたのは、各会員が一年ごとに色々な委員会の役を担う仕組みがある事だと思います。誰かが優秀な人を継続的に会長・幹事に据え、後の人はお金さえ出していれば良いというのでは、ロータリークラブに対する理解が深まるはずありません。以上、メモもなく色々とお話しましたが、この後は全員クラブ協議会で忌憚らない意見の交換をして頂ければと思います。

第2回 全員クラブ協議会

日頃なかなか話す機会のない、クラブの在り方などにつき、テーマを絞らず意見を述べるという趣旨で時間が設けられました。発表された意見は、以下の通りです。

- ① 会員数が減少している現状では、それに合わせた事業の見直しを図るべきである。又、全員クラブ協議会に先立つ理事会での議論の趣旨をオープンにすべきである。執行部は予備理事会の開催などを通し、新年度の準備を充分に行って頂きたい。
- ② 予算の件について
例えば、9年前の決算書と比較しても、週報など経費がかなり削減できている現状において、親睦委員会の活動で、とかく行事毎に一万円などの集金が行われている点は予算組みの在り方として検討しても良いのではないか。
- ③ 次年度以降の組織の在り方について
継続事業の議論以前に委員会の数を減少させても良いのではないか。委員会は一つある毎に予算が必ず必要となるという点からすれば、もっと「小さなクラブ」を目指すべきではないか。

委員会報告

① 会報・雑誌委員会 (比留間 孝司 委員長)

今年度第一回目の週報ができました。内容・体裁について御意見がありましたら、遠慮なくおっしゃって下さい。又、今年一年間「ロータリーの友」への関心を高めて頂く為の企画として毎月第一例会にて、私なりの記事紹介を行いますので、よろしくお付き合い下さい。

② 田代 純則 会員

商工会主催の花火大会に協賛金を頂き、有難うございます。産業祭りの件についても、報告がありました。

IMの打上げの様子



ご苦労さまでした。



ニコニコBOX (峯岸 一郎 親睦委員)

- 多摩分区分ガバナー補佐 石井作市様、多摩分区分幹事 秋間武様⇒一年間よろしくお願い致します。
- 東京東大和RC直前会長 守重勝弘様、東京東大和RC直前幹事 若林和男様⇒前年度 波多野ガバナー補佐、石井分区分幹事、清水会長、藤野幹事の皆様始め、貴クラブには一年間お世話になり、心から御礼申し上げます。
- 後藤正次会長⇒ガバナー補佐 石井様、分区分幹事 秋間様、先日の会長会では御指導ありがとうございます。又、本日は御訪問ありがとうございます。
- 波多野稔会員⇒本日、石井ガバナー補佐、秋間分区分幹事様には、早々のご来会、誠にありがとうございます。本年度のご指導、よろしくお願い致します。昨日、IMの打上げには、大勢のご参加をいただき深夜迄ご苦労様でした。

- 栗原高明会員⇒昨日のIM打上げでIMの事業がすべて終了しました。会員のみなさまのご協力に感謝申し上げます。
- 田代純則会員⇒商工会主催の花火大会には多額の協賛金ありがとうございました。きっと市民も喜んでおります。RC会員、家族お揃いでお出かけ下さい。
- 峯岸一郎会員⇒昨日IM打上げは、欠席ですみませんでした。これにてIM事業すべて終了ですね。みなさん、お疲れ様でした。
- 田中伸彦会員⇒7月1日より新しく大きな仕事を受注いたしました。毎日徹夜で生産しています。その様な理由で早退する事をお許し下さい。

◆ 今回計 53,000円 累計 186,000円